

# PANDORA

図書委員会だより2019・9月号  
奈良県立奈良朱雀高等学校 図書委員会発行  
担当： 観光ビジネス科 情報工学科



今年度の標語：「知識」という扉の鍵は「本を読む」ということにあり

## ☆ 引っ越しました ☆

耐震工事にともない<天空の図書館>は引っ越しました。  
新しい図書室は本館4階東側(103B2)の教室です。司書は隣の準備室(103B1)にいることが多いので、不在のときはそちらに声をかけてください。

## ☆ 朱雀祭イベントについて ☆

図書委員会では、10年以上に渡って高の原イオンシネマより映画鑑賞券を無償で提供していただいていた朱雀祭で「書委員を捜せ!スタンプラリー」の景品としてきましたが、イオンシネマの運営方針変更により、朱雀祭の景品とすることができなくなりました。  
映画チケット、映画ポスターを楽しみにしてくれていた皆さん、ごめんねさい。

## ☆ 古い雑誌を廃棄します ☆

毎年1月に行っていた雑誌の廃棄ですが、本年度は2度の引っ越しがあるため10月中に廃棄します。欲しい雑誌がある人には差し上げます(事前に連絡をくれた人の中から抽選です)ので、図書室まで内容を確認しに来てください。廃棄対象は平成29年(2017)に出版された雑誌です。



### 月夜の浜辺

月夜の晩に、ボタンが一つ  
波打際に、落ちてゐた。  
それを拾って、役立てようと  
僕は思ったわけでもないが  
なぜだかそれを捨てるに忍びず  
僕はそれを、袂に入れた。  
月夜の晩に、ボタンが一つ  
波打際に、落ちてゐた。  
それを拾って、役立てようと  
僕は思ったわけでもないが  
波に向かつてそれは抛れず  
波に向かつてそれは抛れず  
僕はそれを、袂にいれた。  
月夜の晩に、拾ったボタンは  
指先に沁み、心に沁みだ。  
月夜の晩に、拾ったボタンは  
どうしてそれが、捨てられようか?

『中原中也詩集』(角川文庫)



読書の秋です。ちょこっと読書しませんか? (裏面にもあるよ!)

第4回パンドラクイズ「神経衰弱漢字」クイズの答えは…「天体観測」でした。  
正解者：

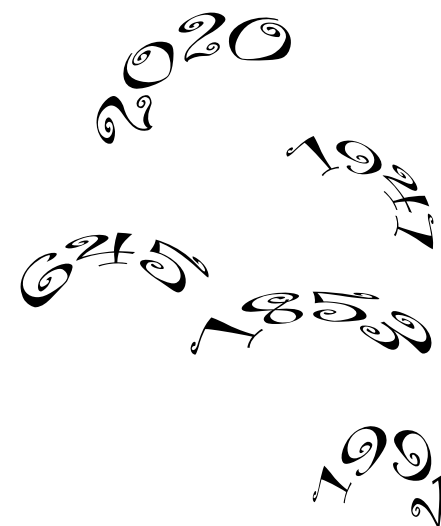
以上14名のみなさんは10月9日(水)までに  
図書館カウンターへ景品を取りに来てください。

## 第5回パンドラクイズは・・・何があったか? 「できごと計算クイズ」です!

下の事柄に対応する数字(西暦)を当てはめて計算してください。  
さて、答えに出てきた数字(西暦)に起こった歴史的な出来事は何でしょう?

大化の改新 + 消費税率5% - 2度目の東京五輪 + 太平洋戦争 - ペリー来航 = ???

大化の改新  
( )年  
+  
消費税が3%から5%に引き上げ  
( )年  
-  
2度目の東京五輪  
( )年  
+  
太平洋戦争開始  
( )年  
-  
ペリー来航 = (?出来事?)  
( )年 ( )年



応募用紙に答を記入して「天空の図書館」のどこかにある「模倣本(応募箱)」へ入れてください!  
締切：10月11日(金)

「模倣本」の在り処は、「210」(2:歴史 1:日本史)のコーナーに!

応募用紙 答:( )

\*名前を必ず記入! → ( )年 ( )組 ( )番・お名前 ( )

発表の際に名前を伏せてほしい恥ずかしがり屋さんは7文字以内のペンネームも! ( )

図書委員のオススメ本を紹介



『ことだま 野球魂を熱くする名言集』  
「野球太郎」編集部十石井孝・編 (集英社)

私がこの本の中で一番心に響いたフレーズは松坂大輔選手の「僕は夢は見ない。常に目標を掲げる」という言葉です。松坂選手は、「夢は見るもので、かなうとは限らないものだと考えている」と述べています。私はこの言葉にすごく共感しました。なぜかという、私は夢というより常に目標を立てて行動するようにしているからです。夢を考えることはすごく難しいですが、目標を立てることは簡単です。ですから、これからは夢ではなく目標を立てていろいろなことに取り組んでいきたいと感じました。



『名のないシシヤ』山田悠介 (KADOKAWA)

僕が紹介する本は、『名のないシシヤ』という本です。

この物語は、三人の名のないシシヤが名をもらい、それぞれに居場所、大切な人が出来たり、その生活の中で自分達の謎に気付いたり、人間と違う姿や自分たちの能力による葛藤をしながらも生きていく物語です。

この物語から学んだことは、運命を簡単に変えるはいけないことです。彼らには、人に時間を与える力があります。しかし、その力がとんでもないことを招いてしまったのです。最後に、この物語にはネックレスをしたシシヤが登場します。彼の行動と心境の変化に注意して読んでみてください。



『ビジネスマナーの解剖図鑑』 北條久美子 (エクスマレッジ)

私が紹介する本は「ビジネスマナーの解剖図鑑」です。この本は、もう少しで社会人となる人には是非読んでほしい本です。内容は、挨拶の仕方や、ビジネス敬語などがイラスト付きで分かりやすく解説されています。初心者でも理解しやすい内容になっています!! ビジネス系の皆さんはきっと役立つと思うので、ぜひ読んでみてください!!

『化物語』 西尾維新 (講談社)

私が紹介させていただく本は、物語シリーズの『化物語』です。私が好きなストーリーは『囃物語』なのですが、初めての方でもわかりやすいように第1作目である『化物語』を選ばせていただきました。

このシリーズは主人公である阿良々木暦という人物が怪異に取り憑かれたヒロインたちと出会い、事件を解決していくストーリーです。シリーズによってヒロインが代わっていくのでそこも見どころです。『化物語』は“重し蟹”という怪異に取り憑かれ体重を奪われてしまう不思議な話なので、ぜひ読んでみてください。

『りゅうおうのおしごと!』  
白鳥士郎 (SBクリエイティブ)

私は、『りゅうおうのおしごと!』という本を紹介します。

この本は、16歳で史上最年少の竜王になったが、スランプに陥っていた主人公の九頭竜ハーが、突然押しかけてきた小学三年生の雛鶴あいを弟子に取り、互いに成長していく物語です。私は、将棋のことが全く分かりませんが、会話ベースの読みやすい文章に、主人公の悲壮感あふれるモノローグや、お笑いテイスト満載なツッコミが面白く読めたので、一度この本を手にとって読んで下さい。



『いまだどうしまる? 恋します。』  
べんたぶ・著 (KADOKAWA)

電車の中  
本を読みながら  
ふと顔をあげて  
同じ車両の女子高生を見つめ  
彼女はおしゃべりに夢中で  
その視線に気づかなく  
でも彼女も  
おしゃべりの途中で  
たまに彼を見ま  
なのに彼は本を読ん  
二人の目は合わなく  
きつと恋のはじまりは  
もう少し先のはなし

ちょこっと読書。

『りんごがもしれない』 ヨシタケシンスケ (プロダクション)

この『りんごがもしれない』すごく面白いんです! ある日、学校から帰ってきた男の子は机の上にりんごがあることに気づきました。しかし、「これはもしかしたら、りんごではないのかもしれない」と疑問に思った男の子。

- このりんごは実はメカ?
- りんごを育てると家に帰る?
- りんごには感情がある?
- このりんご...実はオシャレがしたかった?



ほどの疑問をきっかけにいろいろなことを想像します。本当にりんごなのか確かめ、一口かじることに...すると...!? この本をくわしく知りたい方は是非、図書室へ!!